

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年03月14日

計画の名称	広島都心地区(期)都市再生整備計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島市												
計画の目標	広島駅南口広場の再整備等や民間活力を活用した旧広島市民球場跡地の整備などを契機とした都心への来街者の増加や土地利用規制の緩和などによる今後の優良な民間都市開発の進展を見据え、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の連携強化や安全で快適な歩行空間の整備等により、居心地が良く歩いて楽しく回遊できる環境づくりを進め、更なる活力とにぎわいの創出を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,686	A	2,686	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28-R5		R8
1	広島駅周辺の歩行者交通量を5%増加させる。 広島駅と広島駅南口広場を行き交う歩行者に、2階ベデデッキなどの新たな歩行空間を利用する歩行者を加えた数(土休日)(人/日) (広島駅周辺の歩行者交通量) = (広島駅と広島駅南口広場を行き交う歩行者(土休日)) + (2階ベデデッキなどの新たな歩行空間を利用する歩行者(土休日))	42156人/日	人/日	44264人/日
2	広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺における歩行環境の満足度を4%増加させる。 広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺における歩行環境の満足度」(%) (広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺における歩行環境の満足度) = (「満足している」または「まあ満足している」と答えた票数) / (実態調査の当該項目の全標本数)	40%	%	42%
3	広島駅周辺地区で行われる賑わい創出イベント等の回数を1割増加させる。 広島駅周辺地区で行われるイベント(官民間問わず)の実施回数(回/年) (広島駅周辺地区で行われるイベント(官民間問わず)の実施回数) = (1年間で実施した広島駅周辺地区で行われるイベント(官民間問わず)の回数)	240回/年	回/年	264回/年
4	平和大通りの歩行者交通量を1%増加させる。 平和大通りを行き交う歩行者の数(土休日)(人/日) (平和大通りの歩行者交通量) = (平和大通りを行き交う歩行者の数(土休日))	994人/日	人/日	1004人/日
5	カーブロード周辺の地価変動率を2%上昇させる。 カーブロード周辺の財産評価額の上昇率(%) (カーブロード周辺の地価変動率) = (カーブロード周辺の財産評価額の上昇率(%))	0%	%	2%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28-R5		R8
6	試合日における広島駅・市民球場間の歩行者交通量を1%増加させる。 平日の試合開始1時間前～試合終了後1時間の間に広島駅・市民球場間を通行する歩行者の数（平日）（人/日） （試合日における広島駅・市民球場間の歩行者交通量）＝（平日の試合開始1時間前～試合終了後1時間の間に広島駅・市民球場間を通行する歩行者の数（人/日））	24187人/日	人/日	24428人/日
7	中1区180号線の歩行者交通量を5%増加させる。 中1区180号線を行き交う歩行者の数（人/日） （中1区180号線の歩行者交通量）＝（中1区180号線を行き交う歩行者の数（人/日））	9500人/日	人/日	10000人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R03	R04	R05	R06	R07						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	-	-	広島都心地区(期)都市再生整備計画	道路・地域生活基盤施設等 225ha	広島市						2,686	-	-			
												小計						2,686				
												合計							2,686			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

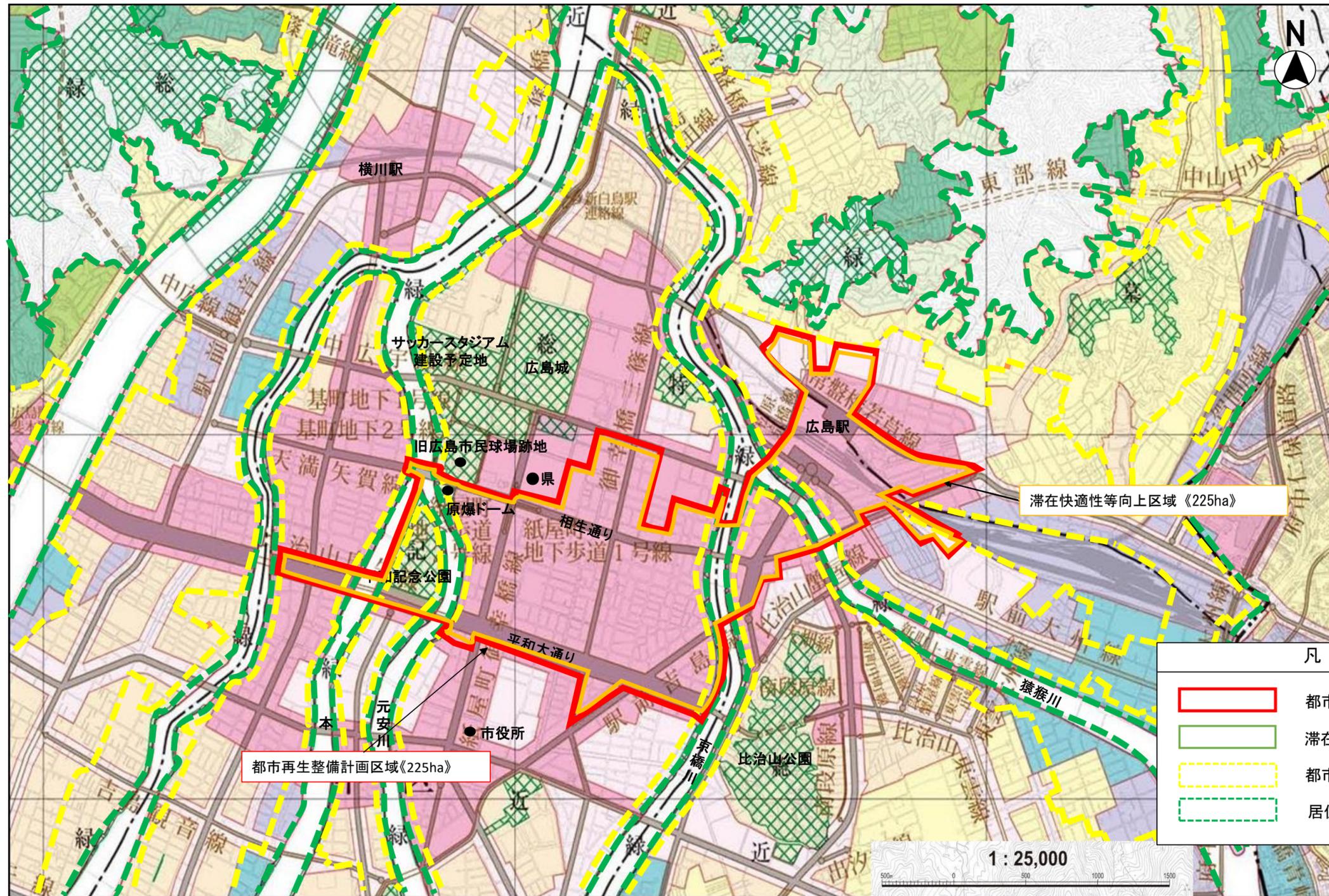
	R03	R04	R05		
配分額 (a)	110	40	237		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	110	40	237		
前年度からの繰越額 (d)	0	93	53		
支払済額 (e)	17	80	221		
翌年度繰越額 (f)	93	53	69		
うち未契約繰越額(g)	89	40	53		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	80.9	30.07	18.27		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。		

事前評価チェックシート

計画の名称： 広島都心地区（ 期）都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

広島都心地区(Ⅱ期)都市再生整備計画



凡例	
	都市再生整備区域
	滞在快適性等向上区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域

都市再生整備計画区域《225ha》

滞在快適性等向上区域《225ha》

(様式第8)

社会資本総合整備計画(市街地整備) 参考図面

2025年3月24日

